



## 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月5日

上場取引所 東 大

上場会社名 タキロン株式会社

コード番号 4215 URL <http://www.takiron.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 兵頭 克盛

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長

(氏名) 武田 豊

TEL 06-6453-3845

四半期報告書提出予定日 平成23年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	17,531	4.6	1,350	12.7	1,352	16.5	632	△20.6
23年3月期第1四半期	16,753	8.7	1,198	416.9	1,160	528.6	795	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 654百万円 (△1.8%) 23年3月期第1四半期 666百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年3月期第1四半期	8.71	—
23年3月期第1四半期	10.89	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	77,766	40,877	51.7
23年3月期	76,775	40,845	52.1

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 40,230百万円 23年3月期 40,023百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年3月期	—	3.00	—	5.00	8.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	4.00	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	34,000	3.0	1,750	△13.8	1,650	△14.9	800	△36.6	11.05
通期	70,000	4.9	4,300	1.9	4,100	1.2	2,000	△19.4	27.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	78,698,816 株	23年3月期	78,698,816 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	6,280,251 株	23年3月期	6,015,957 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	72,584,972 株	23年3月期1Q	73,037,955 株
----------	--------------	----------	--------------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## [目次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 2
2. サマリー情報（その他）に関する情報	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
(4) 追加情報	P. 3
3. 連結財務諸表等	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 8
(4) セグメント情報等	P. 8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災およびその後の電力供給不足により企業の生産活動が低下し、輸出が減少しました。また、個人消費の冷え込み、依然として厳しい雇用情勢やデフレの継続、さらには、円高の継続や原油価格の高騰など、景気は厳しい状況で推移しました。

このような状況のもと、当第1四半期連結会計期間の連結業績は、売上高は175億3千1百万円（前年同期比4.6%増）、営業利益は13億5千万円（前年同期比12.7%増）、経常利益は13億5千2百万円（前年同期比16.5%増）、四半期純利益は6億3千2百万円（前年同期比20.6%減）となりました。

セグメント別の事業の状況は、次のとおりであります。

#### 住環境事業

住宅資材部門は、新雨どいシステムのジェットラインのハウスメーカー・ビルダーの採用が増加し、順調に推移しました。また、戸建住宅の新設住宅着工戸数が増加したことにより、小口径マスのパイプインバート等の管工機材の需要も増加し、売上は前年同期を上回りました。

採光建材部門は、ポリカーボネート製波板、平板、加工品共に順調に推移しました。波板は、東日本大震災の被災地での仮設住宅向け、平板は、道路・鉄道の透光板向け、加工品は、工場・倉庫改修向けに各々需要が増加したことにより、売上は前年同期を上回りました。

環境・土木部門は、公共投資、民需共に、低調に推移し、売上は前年同期を下回りました。

エンジニアリング部門は、管更生分野（下水管渠のリニューアル材）が、前期からの繰越し物件受注で増加したことと、上下水分野の浄化槽用接触材が震災復旧需要で増加したことにより、全体として売上は、前年同期を上回りました。

その結果、住環境事業の売上高は、87億8千3百万円（前年同期比6.2%増）、営業利益は、5億2千2百万円（前年同期比19.1%増）となりました。

#### 床事業

床事業は、東日本大震災の影響により、マンション改修工事の遅れ、中止などが発生したことより、前年同期を下回りました。また、利益面では原材料価格上昇の影響を受けました。その結果、床事業の売上高は、25億2千4百万円（前年同期比6.8%減）、営業利益は、6億5千2百万円（前年同期比17.6%減）となりました。

#### 高機能材事業

プレート部門は、東日本大震災の影響により、企業の生産計画の先送りなど受注調整の動きが見られ、FMプレート（難燃材料）や制電プレートなど工業用プレートの需要が低迷し、売上は前年同期並みとなりました。

ポリカプレート部門は、機械カバー用途や面板用途を主体とした汎用および高機能品が堅調に推移し、売上は前年同期を上回りました。

また、その他の部門においても、樹脂製タンク等のIT関連向けの需要回復や震災復旧需要等が増加し、売上は前年同期を上回りました。

その結果、高機能材事業の売上高は、57億5千4百万円（前年同期比7.7%増）、営業利益は、1億9千8百万円（前年同期は、7百万円）となりました。

#### メディカル事業

骨接合材料部門は、頭蓋顎顔面外科分野のスーパーフィクソープMXの売上が前年前期を若干下回る実績となりましたが、スーパーフィクソープの売上は胸部外科・心臓血管外科分野を中心に順調に推移しました。

その結果、メディカル事業の売上高は、4億6千8百万円（前年同期比8.6%増）、営業損失は、2千2百万円（前年同期は3千9百万円の営業損失）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より9億9千万円増加し、777億6千6百万円となりました。これは、有形固定資産が7億9千9百万円減少したものの、主に受取手形及び売掛金、商品及び製品が増加したことにより、流動資産が17億円増加したことによるものです。一方、負債は、前連結会計年度末より9億5千8百万円増加し、368億8千9百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金の増加により流動負債が6億9千5百万円増加したことによるものです。また、純資産は、前連結会計年度末より3千1百万円増加し、408億7千7百万円となりました。自己資本比率は、51.7%となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月12日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報（その他）に関する情報

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理  
税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

(4) 追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び誤謬の訂正により、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,105	7,882
受取手形及び売掛金	23,181	23,909
有価証券	19	19
商品及び製品	6,492	7,185
仕掛品	2,322	2,627
原材料及び貯蔵品	1,762	1,933
繰延税金資産	755	762
その他	991	1,007
貸倒引当金	△156	△154
流動資産合計	43,473	45,174
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,826	7,516
機械装置及び運搬具(純額)	4,857	4,682
土地	10,364	10,073
建設仮勘定	123	172
その他(純額)	1,160	1,089
有形固定資産合計	24,332	23,533
無形固定資産		
のれん	436	399
その他	479	483
無形固定資産合計	915	883
投資その他の資産		
投資有価証券	2,997	3,131
繰延税金資産	3,676	3,690
その他	1,651	1,567
貸倒引当金	△271	△215
投資その他の資産合計	8,053	8,174
固定資産合計	33,302	32,591
資産合計	76,775	77,766

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,851	14,746
短期借入金	3,062	3,093
1年内返済予定の長期借入金	600	450
未払法人税等	988	701
賞与引当金	910	576
その他	3,190	3,730
流動負債合計	22,603	23,298
固定負債		
長期借入金	1,000	1,500
繰延税金負債	967	965
退職給付引当金	10,022	9,866
役員退職慰労引当金	218	163
資産除去債務	200	201
その他	917	893
固定負債合計	13,326	13,590
負債合計	35,930	36,889
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	15,189	15,189
資本剰余金	14,667	14,667
利益剰余金	11,671	11,977
自己株式	△1,731	△1,809
株主資本合計	39,796	40,024
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	300	276
為替換算調整勘定	△73	△71
その他の包括利益累計額合計	227	205
少数株主持分	821	646
純資産合計	40,845	40,877
負債純資産合計	76,775	77,766

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	16,753	17,531
売上原価	10,904	11,497
売上総利益	5,849	6,033
販売費及び一般管理費	4,651	4,683
営業利益	1,198	1,350
営業外収益		
受取配当金	34	36
その他	57	71
営業外収益合計	91	108
営業外費用		
支払利息	36	30
たな卸資産処分損	19	31
その他	73	44
営業外費用合計	129	106
経常利益	1,160	1,352
特別利益		
投資有価証券売却益	10	—
その他	1	—
特別利益合計	11	—
特別損失		
固定資産処分損	3	7
災害による損失	—	10
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	217	—
特別損失合計	221	17
税金等調整前四半期純利益	950	1,334
法人税等	148	658
少数株主損益調整前四半期純利益	802	676
少数株主利益	6	44
四半期純利益	795	632



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	802	676
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△137	△24
為替換算調整勘定	1	2
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	△136	△21
四半期包括利益	666	654
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	664	610
少数株主に係る四半期包括利益	1	43

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません

## (4) セグメント情報等

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高、利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	計
	住環境	床	高機能材	メディカル	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,269	2,709	5,343	431	16,753	—	16,753
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5	4	1	—	11	(11)	—
計	8,275	2,714	5,344	431	16,765	(11)	16,753
セグメント利益 又は損失(△)	438	792	7	△39	1,198	—	1,198

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益又は損失と一致しております。

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高、利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	計
	住環境	床	高機能材	メディカル	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,783	2,524	5,754	468	17,531	—	17,531
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10	3	10	—	23	(23)	—
計	8,793	2,527	5,765	468	17,554	(23)	17,531
セグメント利益 又は損失(△)	522	652	198	△22	1,350	—	1,350

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益又は損失と一致しております。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。